

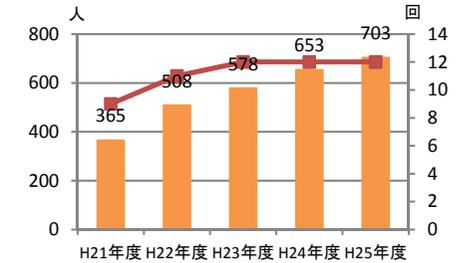
道の駅「(仮称)ほた小学校」

○廃校となった小学校を活用し、町民の多様な経済活動のステージ(商業・交流・宿泊)、健康・医療・福祉のまちづくりのためのウォーキングコース拠点(パーク・ライド・ウォーク)、長期避難に対応可能な防災拠点としての機能を整備することにより、地方創生・コンパクト+ネットワークタウンの拠点となる「道の駅」として再生

<地方創生拠点としての機能>
地域センター型

<p>地域福祉 健康・医療・福祉のまちづくり ウォーキングの拠点</p>	<p>防災 町民・交流客の長期避難に対応</p>	<p>産業振興 小規模事業者の需要開拓の場</p>	<p>地方移住等促進 教育、医療・福祉の利便性向上</p>
---	-------------------------------------	--------------------------------------	--

- 保田地区教育・福祉・医療施設→集約・防災強化
- IC・駅近の交通要所→集客強化・地域交通整備



水仙、頼朝桜、みかん狩り等を楽しみながらのハイキング。町外の参加者も多く、常に満員。道の駅整備により受入体制を強化。

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
「ほた小学校」(仮称)	千葉県	鋸南町	県道34号	新設	平成27年(予定)	単独型

- 南房総のランドマーク**
 - 南房総地域の玄関口。
 - 様々な方が集い、交流する場。
- 小学校施設の活用**
 - 閉校した小学校とその周辺の里山を活用。
 - 都市と地方が交流する拠点施設。
- 町民が躍動するステージ**
 - 町内の一次産業、商工観光業者が再チャレンジできる場。
 - 活躍できるステージづくり、地域経済の再生の場。
- 情報の発信拠点**
 - 町内、更には町に隣接する地域に点在する観光資源、食、人、体験、景観などのあらゆる情報を発信する拠点施設。

※イメージ図であり、今後、変更の可能性があります。

<提案の先駆性・ポイント>

- 地域コミュニティの核であった学校を、都市農村交流・複合商業施設にコンバージョン
- 地域包括支援センターが先進的に取り組んできた認知症予防やポールウォーキングの取り組みを活かし、「道の駅」を拠点としてウォーキングコースやコース沿いの空き家を活用した休憩所等を整備。
- 東日本大震災の教訓と学校建築の特徴を活かし、簡易宿泊所と調理設備等を設置

<実施内容>

- テナントスペース、交流施設、直売所を整備
- 無料公衆無線LAN、多機能トイレの拡充、EV充電器の設置
- 安心安全『ウォーキングコース』整備、空き家活用『小道の駅』整備
- コールセンターの仕組みを参考にした移住等情報の総合窓口整備
- 非常用電源、太陽光発電(含む蓄電)、災害弱者対策